

# 第2回 米代川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

## 第6回 米代川圏域流域治水協議会

能代河川国道事務所

～令和5年7月豪雨の被害状況を共有～  
～関係機関の取組を詳細にフォローアップ～

### 1. 概要

両協議会で令和5年7月豪雨による被害があった各機関から被害概要の報告が行われ、水害危機感の共有が図られました。また、取組状況のフォローアップ報告のほか、流域治水プロジェクトの更に磨き上げていくことについて承認されました。出席委員からは、これまでの各種河川改修事業により米代川本川に大きな被害が無かったことを評価する一方、気候変動により想定以上の降雨が続くなか、被害の大きかった支川の対策を関係機関と連携しながら進めていきたい。等の意見が出されました。

### 2. 実施状況

日時：令和5年9月4日(月) 13時30分～15時10分  
会場：能代河川国道事務所 第1会議室  
WEB会議併用  
出席：能代市長、北秋田市長、鹿角市長、  
小坂町長、藤里町長、八峰町長、上小阿仁村長  
秋田県総務部危機管理監、秋田県農林水産部長  
秋田県建設部長  
国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 東北北海道整備局長  
東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所長  
東北森林管理局 米代東部森林管理署長  
気象庁 秋田地方气象台長  
秋田内陸縦貫鉄道(株) 代表取締役社長  
能代河川国道事務所長 (一部代理出席)

### 3. 被害概要

【秋田県】 米代川圏域で7河川が氾濫  
土木施設の被害は109箇所9,765百万円に上った  
【能代市】 床上115棟、床下119棟の浸水被害の内約9割が  
悪土川の内水関連。農業関連で8,734百万円  
【八峰町】 床上3棟、床下20棟の浸水被害  
河川被害38箇所、道路被害49箇所、橋梁3箇所  
【藤里町】 中規模半壊1件、床下5件の浸水被害  
農業関連32箇所、土木関連48箇所に被害

### 4. 主なご意見・コメント等

#### 【能代市長】

・米代川については、森吉山ダムの供用開始や河川整備の効果もあって大きな被害は無く、大変感謝している。一方で能代市内を流れる悪土川等、支川で被害が発生しており、想定以上の降雨に対して、国、県と共に対策していきたい。

#### 【藤里町長】

・大雨警報(土砂災害)により4地区で避難指示を出した。町内を流れる藤琴川については、素波里ダムの緊急放流が回避されたことや、米代川本川水位上昇前の増水であったことから氾濫はさけられたが、浸水想定区域には重要施設も多いことから、今後も関係各所と連携して対策していきたい。

#### 【八峰町】

・水路からの越水に対処するための土嚢作りにおいて砂の確保に苦慮した。消防団だけではなく、町民も作成する機会があったことから、講習会等の開催が必要と感じている。

#### 【上小阿仁村】

・萩形ダムの緊急放流を受け、村では初めてとなる村内全域を対象とした緊急安全確保となった。役場の機能を安全な高台に移したのも初であり、反省点を今後活かしたい。



〔会議の様子〕



〔能代市長発言〕



〔藤里町長発言〕